

NO28

六華苑 庭園防空壕

所在地は桑名市桑名（桑名コミュニティバス六華苑西下車徒歩1分）



桑名の観光名所「六華苑」は桑名の実業家、諸戸清六が建てた邸宅で、現在は桑名市が所有しています。その「六華苑」の庭園内には、大きな防空壕があります。

防空壕内部はコンクリートでつくられており、鉄製の扉の跡が2カ所あります。

桑名は空襲がとても激しかったところで、単位面積あたりの焼夷弾の被害としては、全国1位という記録も残っているほどです。

桑名は昔から鋳物産業がさかんで、飛行機の部品を作る工場もたくさんありました。そのことも大きな被害を受けた要因なのかもしれません。

庭園内の池にも大きな爆弾が落ち、大きな石がたくさん飛び、和館の柱も折れたようです。（防空壕は危険なので、現在は一般公開はされていません。鉄のふたがしてあります）

20060605 掲載